

研究開発推進機構 文化遺産情報科学調査研究センター

同志社大学 文化遺産情報科学調査研究センター

(Research Center for Knowledge Science in Cultural Heritage 略称: CKSCH)

2009年に、同志社大学に設置されたCKSCHは、「**文化遺産を社会資源、人類共通の資産と位置づけ**」、これを実践する方法の開発や研究、世界各国での人材育成と調査支援を実施し、今年で12年となります。

当初より、「**歴史文化の地域での“身体化” ⇒ SDGsプロトコルの構築**」を目標に、そのための技術研究・人材育成・社会実験プログラムを行っています。現在は、**遺跡調査部門、遺跡資料分析部門、調査情報技術部門、古人類・病理部門、地球惑星科学部門、社会教育普及(人際育成)部門、教理モデル応用部門**を組織内に設置し、それぞれ副センター長を配し、全国の研究者や社会活動の実践者に研究員を委嘱、共同調査・研究を推進しています。センター長以下、92名(内:外国人6名、企業内研究者24名、議員2名、メディア2名、含む)の組織です。

同志社大学文化情報学部(時空間情報科学研究室)と連携し、学生の人材育成ならびに学生の研究成果の実社会での実践教育を、**PBL科目や演習科目で実施**しています。また、**小中学校におけるICT教育支援**や、地域行政機関との**“市民大学”の運営、法人設置**なども行っています。

国際機関との連携実績	国内機関との連携実績	研究機関との連携実績
<ul style="list-style-type: none"> UNESCO(中央・南・東南アジア) 中華人民共和国(敦煌研究院) オマーン国(遺産・博物館省) など 	<ul style="list-style-type: none"> 奈良県(奈良・明日香世界遺産) 岡山県 真庭市(古代古墳・北洞) 島根県 松江市(国宝・松江城) など 	<ul style="list-style-type: none"> 国立文化財機構(東京文化財研究所) イタリア ポローニャ大学考古学研究室 イギリス ケンブリッジ大学 など



「飛鳥美人」が漢語で話したら?

Rを計測する技術 HMDの6 DoF(自由度) データを利用

VR/AR/MRの一般化

メタバースに拡張

何の有益性? 歴史は誰のもの? HISTORYの身体化 (自己の外化) not his + story

これまでの様々な実例 なかに入って触って“体験”できるXR



構造的なICT教育開発を大学と連携で

CKSCHならびに同志社大学文化情報学部は、データサイエンスを基盤・機軸とした高度研究者、データアナリスト、調査・計測・研究機関

現状のICT教育教材 → 教科書会社などから提供されるWeb教材
 → ICT教材じゃないとできない教育になっていない
 → 最初からすべてではなく「未来像」の共有を!



津村宏臣 Hiroomi TSUMURA 同志社大学 文化情報学部/文化遺産情報科学調査研究センター